

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
I Tスペシャリスト科											
IoT実習 3											
対象	2年次	開講期	後期	区分	必	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	大村			実務経験	有	職種	プログラマー				
授業概要											
各種センサーを利用したプログラムの企画から開発、テストまでを行います。											
到達目標											
Raspberry Piを使って、IoTやAIなどで注目されているプログラミング言語であるPythonを使った簡単なプログラムを作成できること。プログラムからネットワークを経由してアクチュエータを制御したり、センサーから取得した情報をネットワークへ送信する実習を通じ、IoTの利活用についてより一層知識を深めることを目指す。											
授業方法											
RaspberryPiから制御するためにブレッドボードにアクチュエータやセンサーなどの電子部品を取り付け、簡単な例題プログラムを作成しながら電子部品の制御などを学習する。適時実施する演習課題に対して、自分なりに考え、手を動かしてプログラムを作成することで電子部品の制御方法などの技術の定着を図り、電子部品を扱った簡単なプログラムを作成できるようになることを目的とする。											
成績評価方法											
試験と課題、理解度確認の小テストを総合的に評価する。授業参加度、授業態度も評価に含まれる。											
履修上の注意											
教科書、ノートパソコン、LANケーブル、SDカードを必ず持参すること。新しい用語の意味を理解し名称を覚えること。電子部品は壊れやすいので丁寧に扱うこと。簡単なプログラムであったとしても、必ず手を動かして実際にプログラムを作成し、プログラムの実行結果を確認すること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
みんなのRaspberry Pi入門											
回数	授業計画										
第1回	環境設定 (RaspberryPiを設定するための各種コマンドをノートパソコンから入力できる)										
第2回	Python基礎 (Pythonを使って簡単なプログラムを作成できる)										
第3回	電子工作基礎、LED制御 (プログラムで指示したとおりにLEDを点灯/滅灯させることができる)										

2020年度 日本工学院八王子専門学校

I T スペシャリスト科

IoT実習 3

第4回	スイッチ、カメラ制御(1) (スイッチのON/OFFの状態を、LEDの点灯/滅灯として表示できる)
第5回	カメラ制御(2) (カメラで撮影した動画を画面に表示して確認できる)
第6回	加速度センサー制御 (加速度センサーの情報を画面に表示して確認できる)
第7回	クラウド(1) (センサーの情報をクラウドに送り、インターネットで確認できる)
第8回	クラウド(2) (センサーの情報をクラウドに送り、インターネットで確認できる)